令和元年

鳥取県人口移動調査結果

【平成31年1月～令和元年12月】

令和２年１月３１日公表

鳥取県令和新時代創造本部統計課

目　　次

用語の説明 …… 1

利用上の注意 …… 2

調査結果の概要
Ⅰ　鳥取県の人口動態
1　概況 …… 3

2　自然動態
（1）自然動態の推移 …… 3
（2）月別自然動態 …… 4

3　社会動態
（1）社会動態の推移 …… 4
（2）月別社会動態 …… 5
（3）都道府県別（外国を含む）、男女別社会動態 …… 5
（4）ブロック別の県外転入・転出 …… 7
（5）都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数 …… 7
（6）年齢５歳階級別、男女別社会動態 …… 8

Ⅱ　市町村別人口動態
1　人口増減 …… 9

2　自然動態
（1）市町村別自然動態 …… １０
（2）月別自然動態 …… １１
（3）男女別自然動態 …… １１

3　社会動態
（1）市町村別社会動態 …… １２
（2）県内移動 …… １３
（3）県外転入・県外転出 …… １４
（4）４市における年齢５歳階級別、男女別県外転入転出 …… １５

＜参考＞外国人の人口動態 …… １９

参考資料
1　鳥取県の人口動態の推移（Ｓ３０～Ｒ元）…… ２０
2　年齢 10 歳階級別県外転入者数の推移（Ｈ１１～Ｒ元）…… ２１
3　年齢 10 歳階級別県外転出者数の推移（Ｈ１１～Ｒ元）…… ２２
4　県外転出入者数の推移（令和元年移動者総数上位６都道府県）…… ２３

用　語　の　説　明

1　動態

(1)人口動態…自然動態と社会動態を合わせた人口の動きをいう。
(2)自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。
(3)社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

2　移動

(1)移動者総数…県内移動者数(県内市町村間の転出入)と県外移動者数(県内外の転出入)を合計した数をいう。
(2)実移動者総数…県内市町村間の転入者数と県外移動者数を合計した数をいう。
(3)県内転入者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転入した者の数をいう。
(4)県内転出者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転出した者の数をいう。この調査の県内移動については、転入だけを調査している。このため転出については、従前の住所地(市町村)により、算出した数である。
(5)県外転入者数…県外(外国を含む)の市町村から県内の市町村へ転入した者の数をいう。
(6)県外転出者数…県内の市町村から県外(外国を含む)の市町村へ転出した者の数をいう。
(7)転入・転出超過数…転入者数から転出者数を差し引いた数で、プラスの場合を転入超過、マイナスの場合を転出超過という。

3　出生率及び死亡率

(1)出生率…人口に対する出生数の千分率(パーミル【‰】)をいう。
(2)死亡率…人口に対する死亡数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

4　移動者の年齢

令和元年10月1日現在の満年齢による。

5　自然増減数

出生数から死亡数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは自然増加といい、マイナスは自然減少という。

6　自然増減率

人口に対する自然増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

7　社会増減数

転入者数から転出者数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは社会増加といい、マイナスは社会減少という。

8　社会増減率

人口に対する社会増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

9　ブロック別区分

北海道…北海道
東　北…青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関　東…茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中　部…新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近　畿…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中　国…島根県、岡山県、広島県、山口県
四　国…徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九　州…福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

１０　地域別区分

東　　部‥鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町
中　　部‥倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町
西　　部‥米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

１１　市郡別

市　部…鳥取市、米子市、倉吉市、境港市
郡　部…岩美郡、八頭郡、東伯郡、西伯郡、日野郡

利　用　上　の　注　意

1　鳥取県人口移動調査は、「住民基本台帳法」の規定により届出された者を対象に、出生数及び死亡数、転入者数及び転出者数を、それぞれ住民票の異動日を基準として各月ごとに調査したものである。

2　人口及び世帯の移動数は、平成31年1月から令和元年12月までの年間数値であり、市町村表記は令和元年12月現在のもので記載している。

調　査　結　果　の　概　要

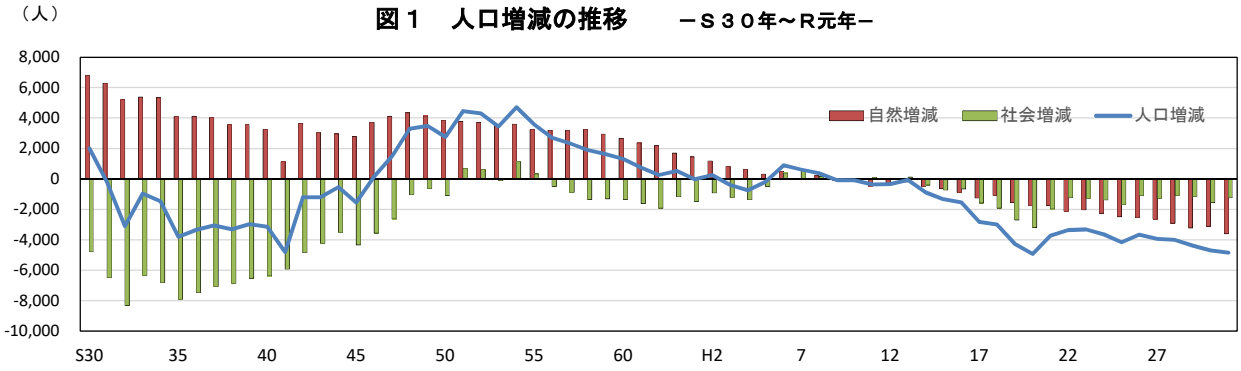
Ⅰ　鳥取県の人口動態

１　概況

１年間の人口動態は、自然動態、社会動態ともに減少し、前年に比べ１５７人減少数が拡大した。

令和元年（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月）の１年間の人口動態をみると、自然動態は 3,598 人減、社会動態は 1,248 人減、合計 4,846 人の減少となり、前年と比べると、減少数が 157 人拡大した。**（図１、統計表第１表）**

図１　人口増減の推移　　－Ｓ３０年～Ｒ元年－



注）各年の数値は1月～12月の集計による。

２　自然動態

（１）自然動態の推移

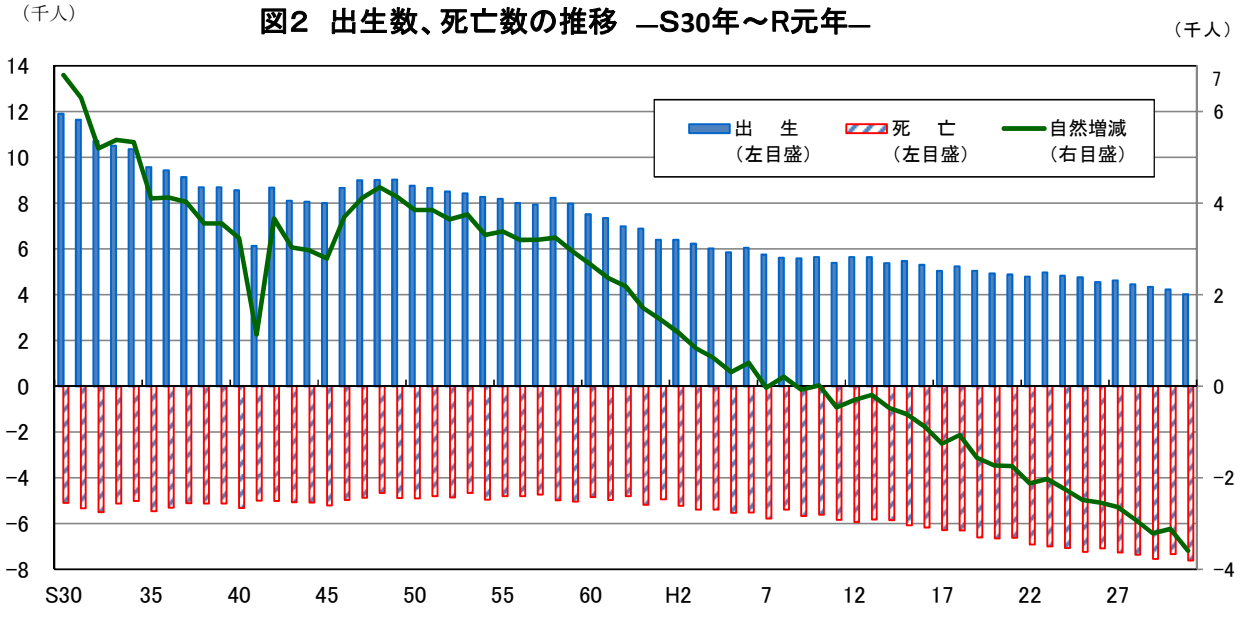
自然増減数は、３，５９８人減少し、２１年連続の減少となった。

出生数は昭和 30 年（11,901 人）以降減少傾向となり、昭和 35 年からは 9,000 人台、昭和 62 年からは 6,000 人台、平成５年からは 5,000 人台、平成 20 年からは 4,000 人台となり、令和元年は 4,013 人で前年と比べると 210 人減少した。

死亡数は、平成２年ごろまでは 5,000 人前後を推移していたが、それ以降は増加傾向となっている。平成 15 年からは 6,000 人台、平成 23 年からは 7,000 人台となり、令和元年は 7,611 人で前年と比べると 271 人増加した。

自然増減数は 3,598 人の減少で前年と比べ減少数は 481 人拡大し、21 年連続の減少となった。**（図２、統計表第１表）**

図２　出生数、死亡数の推移　―S30年～R元年―



注）各年の数値は1月～12月の集計による

（２）月別自然動態

自然増減数はすべての月で減少となり、１月の減少数が最も多い

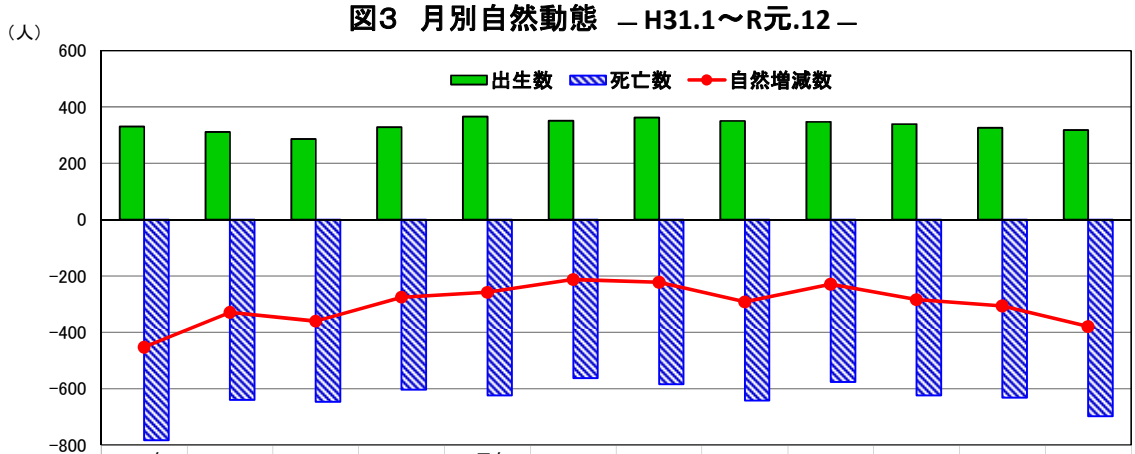
月別にみると、出生数は５月が 365 人（出生総数に占める割合 9.1%）と最も多く、次いで７月が 362 人（同 9.0%）、６月が 351 人（同 8.7%）となった。

死亡数は１月が 782 人（死亡総数に占める割合 10.3%）と最も多く、次いで 12 月が 697 人（同 9.2%）、３月が 646 人（同 8.5%）となった。

自然増減数はすべての月で減少となり、減少数は１月が 452 人と最も多かった。

（図３、統計表第２表）

図３　月別自然動態　－H31.1～R元.12－



	H31年 1月	2月	3月	4月	R元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出生数	330	311	286	328	365	351	362	350	347	339	326	318
死亡数	−782	−640	−646	−603	−623	−563	−584	−642	−576	−623	−632	−697
自然増減数	−452	−329	−360	−275	−258	−212	−222	−292	−229	−284	−306	−379

３　社会動態

（１）社会動態の推移

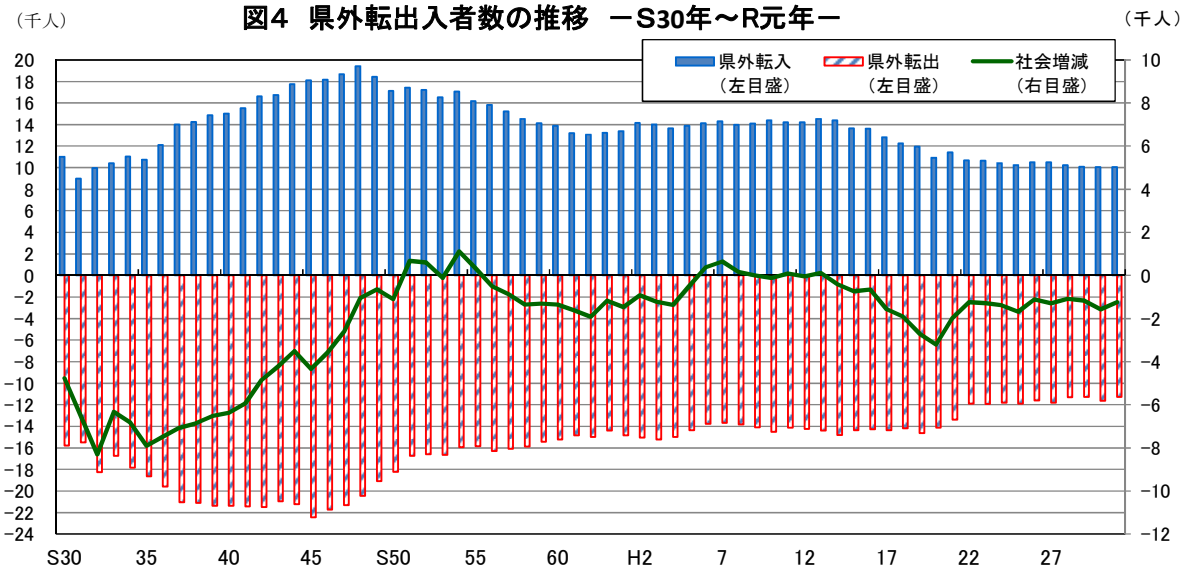
社会増減数は、１，２４８人減少し、１８年連続の減少となった。

令和元年（平成 31 年１月～令和元年 12 月）の県外転入者は 10,043 人、県外転出者は 11,291 人で社会増減数は 1,248 人減少し、県内の市町村間を移動した者(県内移動者)は 6,108 人で実移動者総数は 27,442 人となった。

前年と比べると、県外転入者が６人増加、県外転出者が 318 人減少し、社会増減の減少数が 324 人縮小した。また、県内移動者が 118 人減少し、実移動者総数が 430 人減少した。

社会動態の推移をみると、県外転入者は昭和 48 年の 19,395 人、県外転出者は昭和 45 年の 22,438 人をピークに転入・転出とも減少傾向となり、社会増減数は平成 14 年以降 18 年連続で減少した。**（図４、統計表第１表、統計表第４表）**

図４　県外転出入者数の推移　－S30年～R元年－



注）各年の数値は1月～12月の集計による。

（２）月別社会動態

３月及び４月の２か月間で、年間実移動者総数の３８．５％を占める

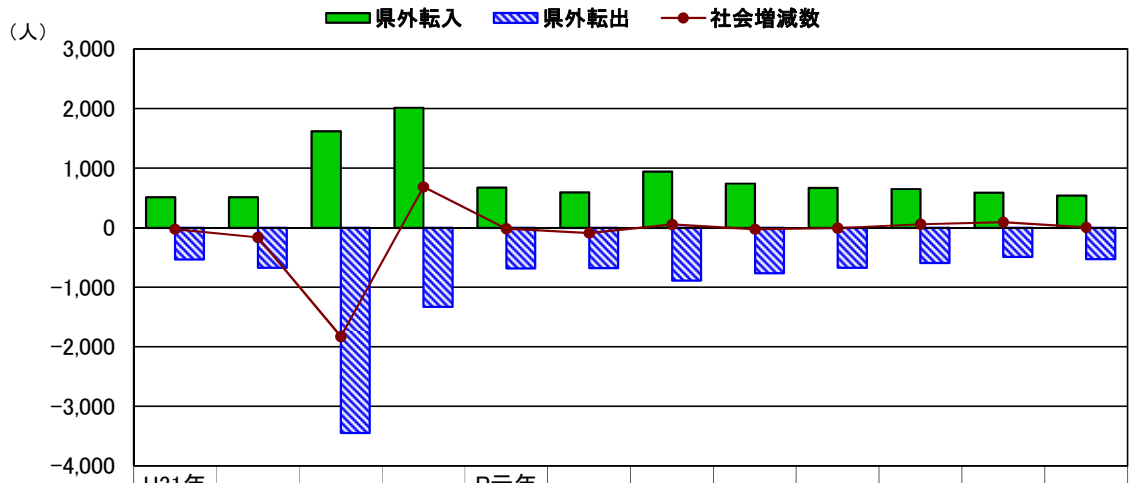
月別にみると、県外転入者は４月が 2,016 人（県外転入者総数に占める割合 20.1%）と最も多く、次いで３月が 1,621 人（同 16.1%）、7 月が 942 人（同 9.4%）となった。

県外転出者は３月が 3,448 人（県外転出者総数に占める割合 30.5%）と最も多く、次いで４月が 1,330 人（同 11.8%）、７月が 890 人（同 7.9%）となった。

この結果、４月が 686 人増加し、３月は 1,827 人減少し、県内移動者数を含めた年間実移動者総数をみると、この２か月間で３８．５％を占めている。

（図５、統計表第３表）

図５　月別県外転出入者数　－ H31.1月～R元.12月－



	H31年 1月	2月	3月	4月	R元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県外転入	511	510	1,621	2,016	670	594	942	739	665	647	588	540
県外転出	−534	−671	−3,448	−1,330	−686	−682	−890	−764	−672	−591	−492	−531
社会増減数	−23	−161	−1,827	686	−16	−88	52	−25	−7	56	96	9

（３）都道府県別（外国を含む）、男女別社会動態

県外からの転入・転出はともに島根県が最も多く、転入者数１，３３９人、転出者数は１，２８１人

都道府県別（外国を含む）にみると、県外転入者は島根県が 1,339 人（男性 720 人、女性 619 人）と最も多く、次いで外国が 1,307 人（男性 532 人、女性 775 人）、岡山県が 908 人（男性 514 人、女性 394 人）となった。

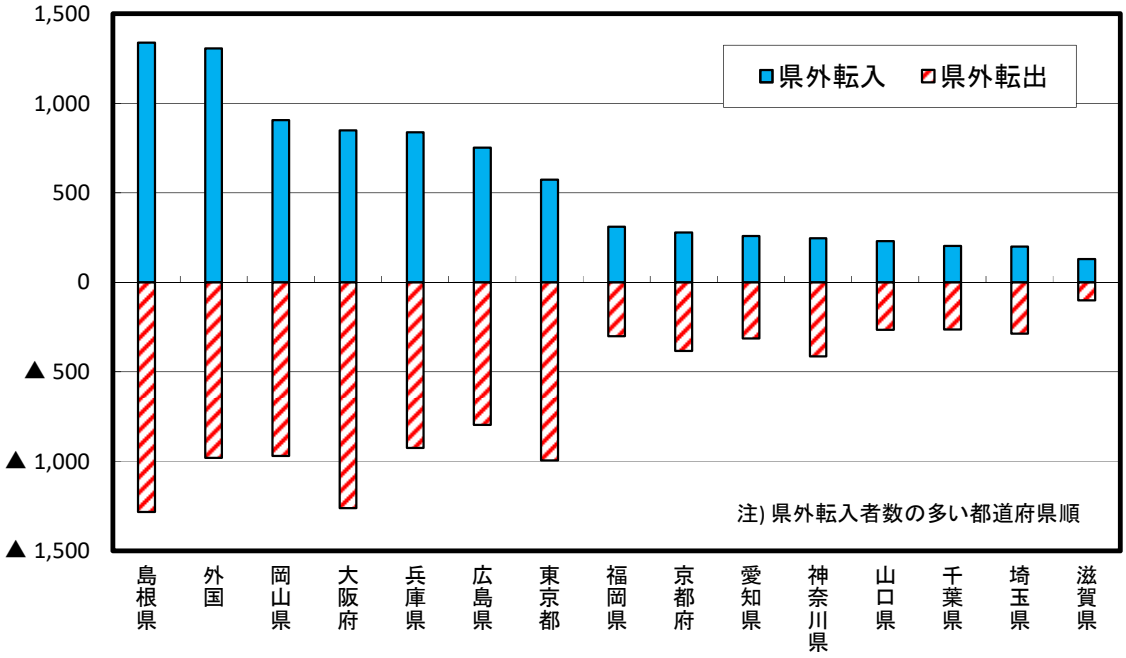
県外転出者は、島根県が 1,281 人（男性 678 人、女性 603 人）と最も多く、次いで大阪府が 1,260 人（男性 615 人、女性 645 人）、東京都が 994 人（男性 557 人、女性 437 人）となった。

また、男女別にみると、男性の県外転入者は島根県が 720 人と最も多く、次いで外国が 532 人、岡山県が 514 人となり、県外転出者は、島根県が 678 人と最も多く、次いで大阪府が 615 人、東京都が 557 人となった。

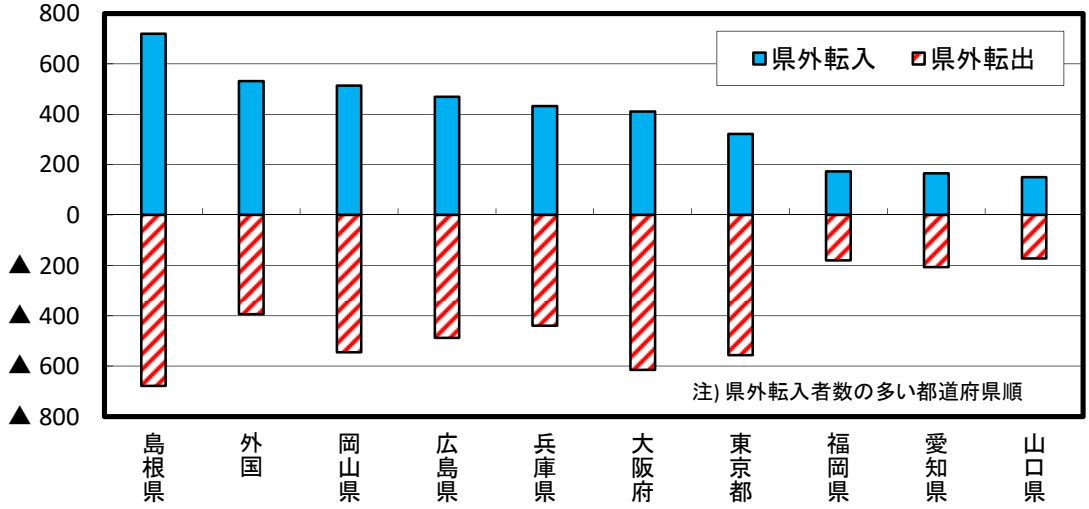
女性の県外転入者は外国が 775 人と最も多く、次いで島根県が 619 人、大阪府が 439 人となり、県外転出者は、大阪府が 645 人と最も多く、次いで島根県が 603 人、外国が 587 人となった。

（図６－１、図６－２、図６－３、統計表第９表）

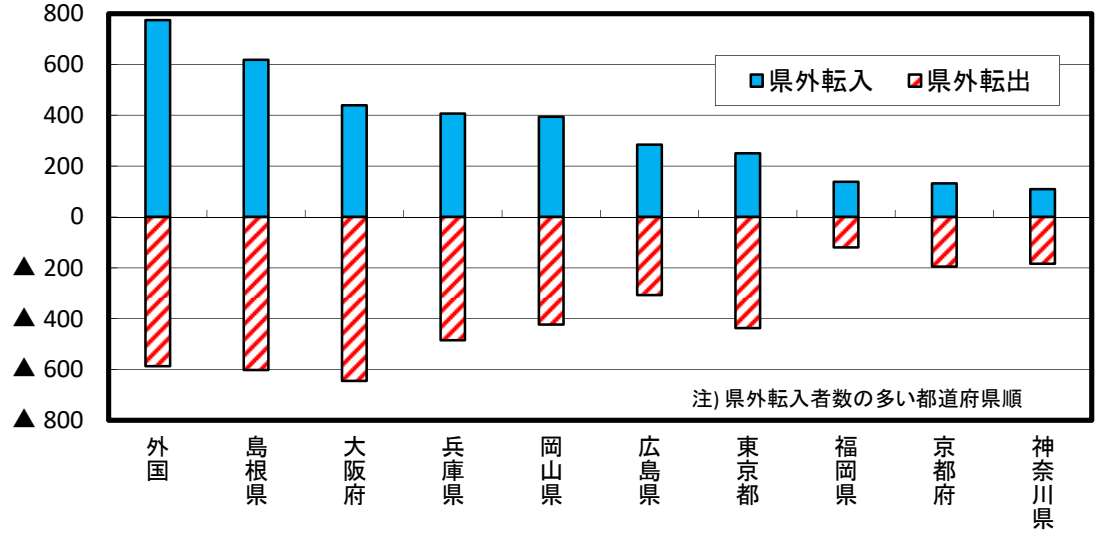
（人）　図6－1 従前の住所地及び転出地の都道府県別転入・転出者数上位15都府県（総数）



（人）　図6－2　従前の住所地及び転出地の都道府県別転入・転出者数上位10都府県（男）



（人）　図6－3　従前の住所地及び転出地の都道府県別転入・転出者数上位10都府県（女）



（４）ブロック別の県外転入・転出

ブロック別の県外転入・転出者数とも中国ブロックが最多で、次いで近畿ブロック

ブロック別にみると、県外転入者は中国ブロックが 3,231 人（男性 1,853 人、女性 1,378 人）で最も多く、次いで近畿ブロックが 2,214 人（男性 1,111 人、女性 1,103 人）、関東ブロック 1,324 人（男性 745 人、女性 579 人）となった。

県外転出者は、中国ブロックが 3,311 人（男性 1,884 人、女性 1,427 人）で最も多く、次いで近畿ブロックが 2,795 人（男性 1,363 人、女性 1,432 人）、関東ブロック 2,127 人（男性 1,169 人、女性 958 人）となった。

（図７－１、図７－２）

図７－１　地域別県外転入者数

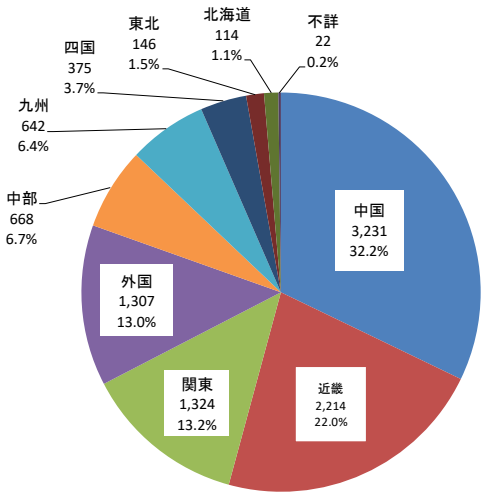
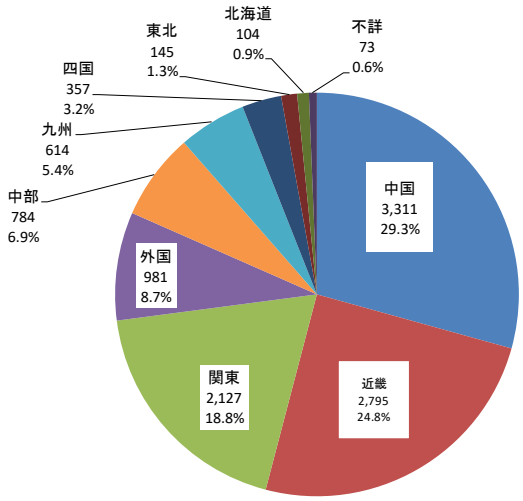


図７－２　地域別県外転出者数



注）全国地域区分別の構成都道府県は、以下のとおり。

北　海　道	北海道
東　　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
関　　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中　　部	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野 岐阜、静岡、愛知、三重
近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中　　国	島根、岡山、広島、山口
四　　国	徳島、香川、愛媛、高知
九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

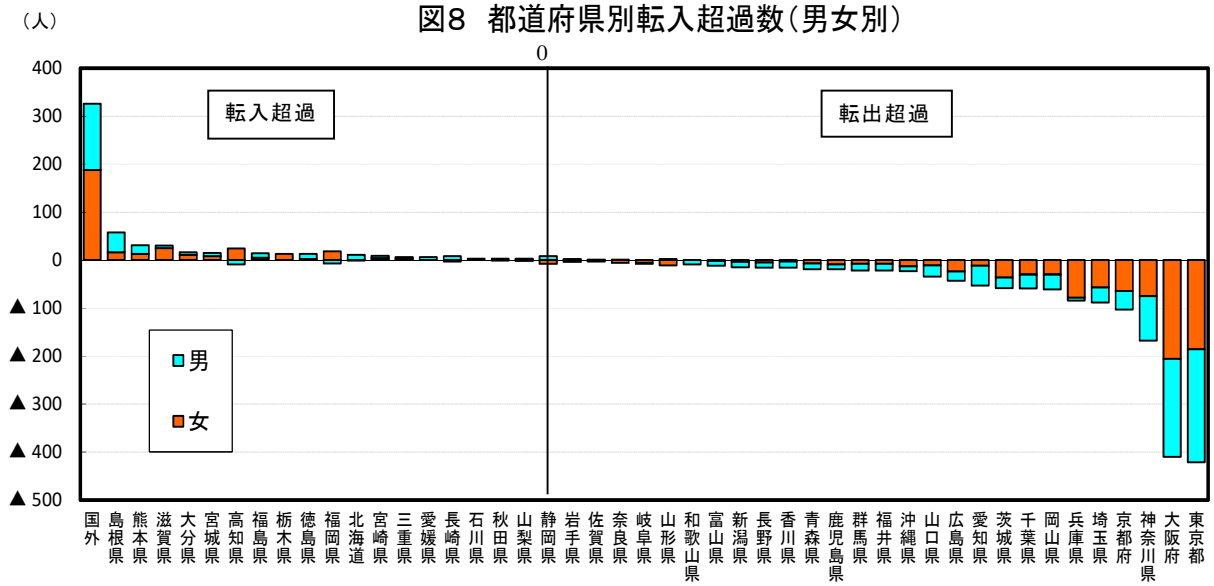
（５）都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数

転入超過数は外国が３２６人、転出超過数は東京都が４２１人と最も多い

転入超過数は、外国が 326 人（男性 138 人、女性 188 人）と最も多く、次いで島根県が 58 人（男性 42 人、女性 16 人）、熊本県が 31 人（男性 18 人、女性 13 人）となった。

転出超過数は、東京都が 421 人（男性 235 人、女性 186 人）と最も多く、次いで大阪府が 410 人（男性 204 人、女性 206 人）、神奈川県が 168 人（男性 93 人、女性 75 人）となった。

（図8、統計表第9表）



（６）年齢５歳階級別、男女別社会動態

６０～６４歳が最も増加し、２０～２４歳が最も減少

年齢５歳階級別にみると、県外転入者は男女とも 20～24 歳が 2,096 人（男性 1,104 人　男性の県外転入者総数に占める割合が 20.5%、女性 992 人　女性の県外転入者総数に占める割合が 21.3%）で最も多く、次いで男女とも 25～29 歳の 1,701 人（男性 877 人　同 16.3%、女性 824 人　同 17.7%）となった。

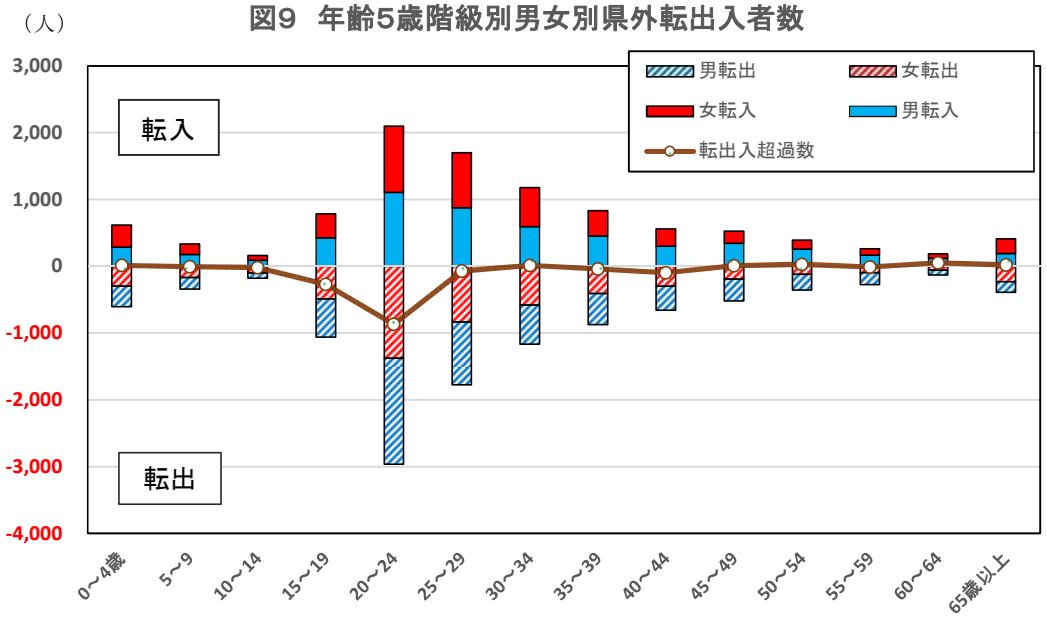
県外転出者は男女とも 20～24 歳が 2,962 人（男性 1,587 人　同 26.3%、女性 1,375 人　同 26.1%）で最も多く、次いで男女とも 25～29 歳の 1,772 人（男性 940 人　同 15.6%、女性 832 人　同 15.8%）となった。

県外転入転出により、60～64 歳が 53 人（男性 44 人、女性 9 人）と最も増加、20～24 歳が 866 人（男性 483 人、女性 383 人）と最も減少し、20～34 歳で県外移動者総数の 51.0%を占めている。

県内移動をみると、男女とも 25～29 歳が 1,057 人（男性 506 人　男性の県内移動総数に占める割合が 16.6%、女性 551 人　女性の県内移動総数に占める割合が 18.0%）で最も多く、次いで 20～24 歳の 870 人（男性 406 人　同 13.3%、女性 464 人　同 15.1%）となった。

県内移動を含めた年間実移動者総数をみると、20～34 歳で 49.6%を占めている。

（図９、統計表第４表、統計表第１０表）



Ⅱ　市町村別人口動態

１　人口増減

すべての市町村で人口が減少

令和元年（平成 31 年１月～令和元年 12 月）の１年間の市町村別の人口増減をみると、すべての市町村で減少し、最も減少したのは鳥取市の 1,318 人（自然減少 921 人、社会減少 397 人）で、次いで米子市が 667 人（自然減少 455 人、社会減少 212 人）、倉吉市が 527 人（自然減少 346 人、社会減少 181 人）、八頭町が 312 人（自然減少 206 人、社会減少 106 人）であった。

また、増減率を見ると、すべての市町村で減少し、最も減少したのは若桜町の 3.50％で、次いで日野町が 3.48％、江府町が 3.39％、日南町が 2.70％であった。

（表１、統計表第６表、統計表第７表）

表１　市町村別人口増減

（単位：人、％）

	自然増減			社会増減			人口増減数	人口増減率
	出生数	死亡数	増減数	転入者数	転出者数	増減数		
県計	4,013	7,611	−3,598	16,151	17,399	−1,248	−4,846	−0.87
鳥取市	1,332	2,253	−921	4,663	5,060	−397	−1,318	−0.70
米子市	1,256	1,711	−455	4,951	5,163	−212	−667	−0.45
倉吉市	355	701	−346	1,279	1,460	−181	−527	−1.12
境港市	221	489	−268	1,379	1,365	14	−254	−0.77
岩美町	64	185	−121	288	351	−63	−184	−1.69
若桜町	12	76	−64	78	117	−39	−103	−3.50
智頭町	25	114	−89	196	236	−40	−129	−1.98
八頭町	88	294	−206	364	470	−106	−312	−1.95
三朝町	23	101	−78	160	170	−10	−88	−1.44
湯梨浜町	130	265	−135	521	546	−25	−160	−0.99
琴浦町	115	283	−168	449	502	−53	−221	−1.34
北栄町	105	227	−122	322	375	−53	−175	−1.23
日吉津村	42	37	5	176	186	−10	−5	−0.14
大山町	90	278	−188	465	442	23	−165	−1.05
南部町	50	167	−117	264	286	−22	−139	−1.33
伯耆町	67	169	−102	335	326	9	−93	−0.87
日南町	21	124	−103	114	124	−10	−113	−2.70
日野町	9	74	−65	87	123	−36	−101	−3.48
江府町	8	63	−55	60	97	−37	−92	−3.39

２　自然動態

（１）市町村別自然動態

自然増減数は日吉津村を除くすべての市町で減少

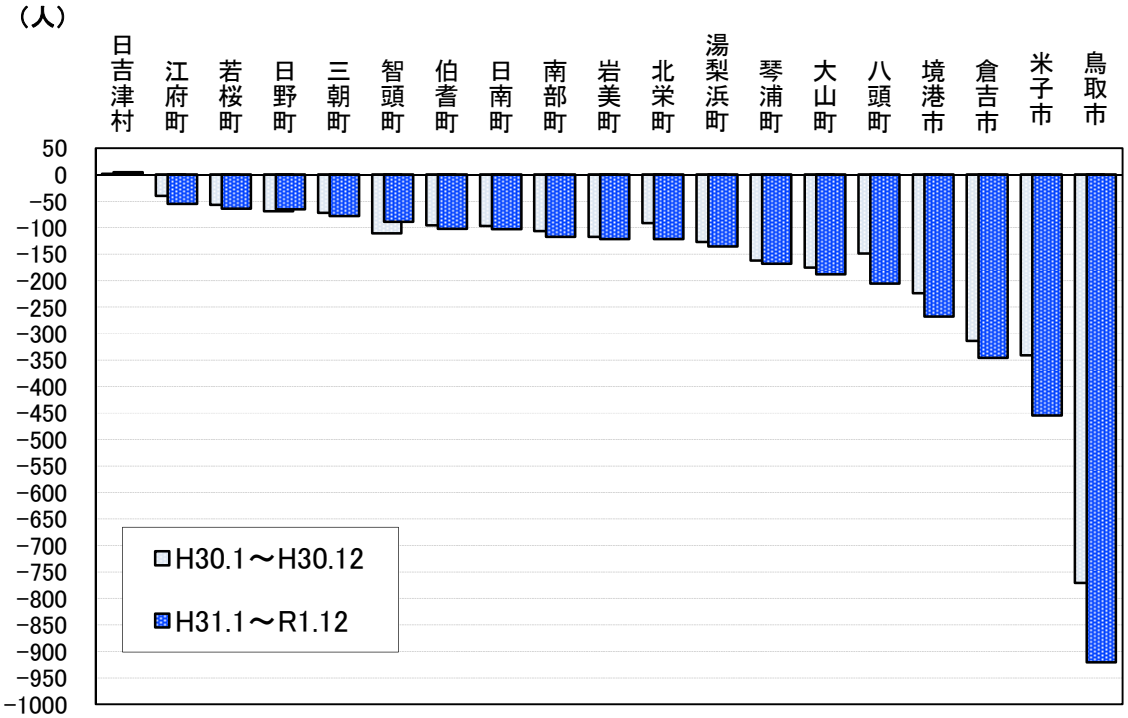
自然増減数を市町村別にみると、日吉津村を除くすべての市町で減少した。

増加したのは日吉津村が５人（出生数 42 人、死亡数 37 人）、最も減少したのは鳥取市の 921 人（出生数 1,332 人、死亡数 2,253 人）で、次いで米子市が 455 人（出生数 1,256 人、死亡数 1,711 人）となった。

自然増減率（対 1,000 人比）をみると、日吉津村が 1.4‰増加、その他の市町は減少し、最も減少したのは日南町の 24.6‰で、次いで日野町が 22.4‰となった。

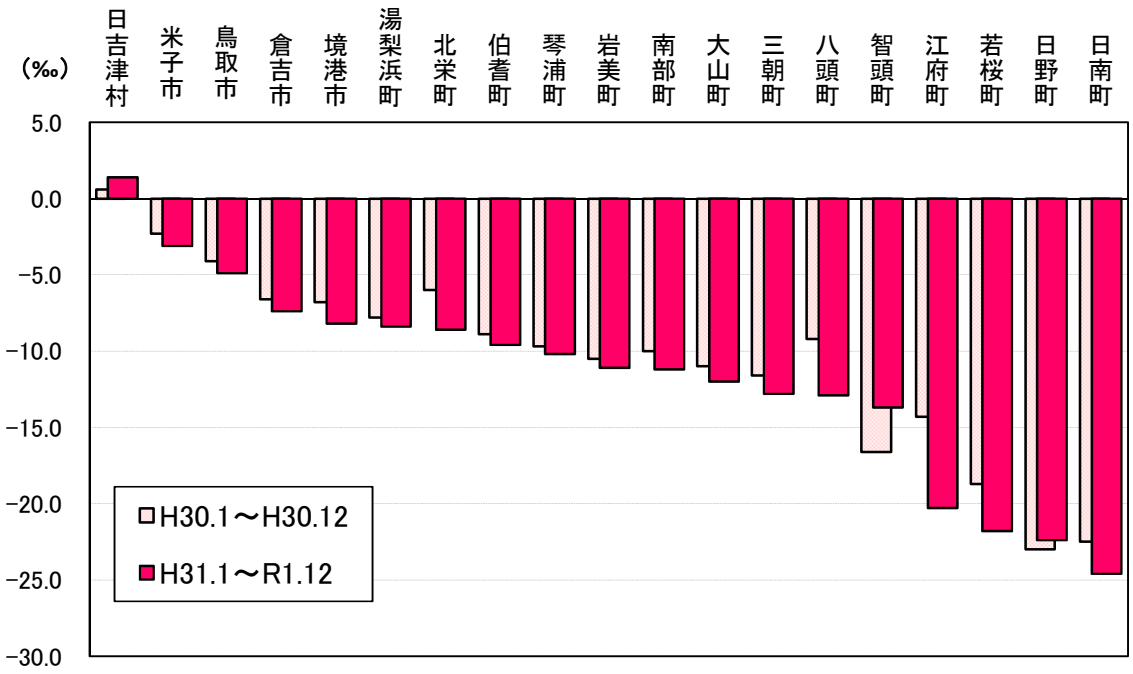
（図１０－１、図１０－２、統計表第６表）

図１０－１　市町村別自然増減数



※各年の数値は１月～12 月の集計による

図１０－２　市町村別自然増減率



※各年の数値は１月～12 月の集計による

（２）月別自然動態

出生数は６月の鳥取市の１３２人、死亡数は１月の鳥取市の２３０人が最も多い。

月別にみると、出生数は6月の鳥取市の132人（総出生数に占める割合3.3%）が最も多く、次いで10月の鳥取市の123人（同3.1%）、8月の米子市の122人（同3.0%）となった。

死亡数は1月の鳥取市の230人（総死亡数に占める割合3.0%）が最も多く、次いで3月の鳥取市の212人（同2.8%）、12月の鳥取市の205人（同2.7%）となった。

（表2）

（３）男女別自然動態

男女の出生数・死亡数とも鳥取市が最も多かった。

市町村別の男女別をみると、男性の出生数は鳥取市が678人と最も多く、次いで米子市が661人、倉吉市が189人、境港市が107人であった。死亡数は、鳥取市が1,099人と最も多く、次いで米子市が820人、倉吉市が333人、境港市が222人であった。

女性の出生数は鳥取市が654人と最も多く、次いで米子市が595人、倉吉市が166人、境港市が114人であった。死亡数は、鳥取市が1,154人と最も多く、次いで米子市が891人、倉吉市が368人、境港市が267人であった。

また、最も少なかった出生数は、男性では日野町の1人、女性では江府町の5人、死亡数は、男性では日吉津村の25人、女性では日吉津村の12人であった。

（表2、統計表第6表）

表2　月別男女別自然動態　－H31年1月～R元年12月－

（単位：人）

			計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県 計	出生数	男	2,073	185	148	145	168	184	192	184	191	180	165	172	159
		女	1,940	145	163	141	160	181	159	178	159	167	174	154	159
		小計	4,013	330	311	286	328	365	351	362	350	347	339	326	318
	死亡数	男	3,644	384	276	316	294	292	285	265	308	257	306	322	339
		女	3,967	398	364	330	309	331	278	319	334	319	317	310	358
		小計	7,611	782	640	646	603	623	563	584	642	576	623	632	697
鳥取市	出生数	男	678	53	43	58	48	55	70	58	59	66	60	54	54
		女	654	44	63	51	53	51	62	62	55	52	63	55	43
		小計	1,332	97	106	109	101	106	132	120	114	118	123	109	97
	死亡数	男	1,099	121	96	101	94	90	77	75	89	74	85	98	99
		女	1,154	109	103	111	95	93	75	86	85	101	96	94	106
		小計	2,253	230	199	212	189	183	152	161	174	175	181	192	205
米子市	出生数	男	661	54	54	48	61	57	71	53	69	46	43	59	46
		女	595	45	48	37	52	61	48	52	53	50	58	41	50
		小計	1,256	99	102	85	113	118	119	105	122	96	101	100	96
	死亡数	男	820	86	60	64	77	63	58	52	61	61	79	70	89
		女	891	103	79	69	84	73	66	66	68	59	66	66	92
		小計	1,711	189	139	133	161	136	124	118	129	120	145	136	181
倉吉市	出生数	男	189	15	14	10	20	19	13	22	8	16	24	15	13
		女	166	14	9	14	13	18	9	16	14	12	11	16	20
		小計	355	29	23	24	33	37	22	38	22	28	35	31	33
	死亡数	男	333	43	25	32	22	27	17	41	30	22	24	23	27
		女	368	40	37	30	28	42	29	32	30	28	28	26	18
		小計	701	83	62	62	50	69	46	73	60	50	52	49	45
境港市	出生数	男	107	15	6	4	6	13	4	10	13	10	7	11	8
		女	114	7	9	14	10	14	6	9	9	14	5	5	12
		小計	221	22	15	18	16	27	10	19	22	24	12	16	20
	死亡数	男	222	26	16	13	24	15	23	27	20	12	13	17	16
		女	267	26	28	22	14	23	17	17	28	27	22	21	22
		小計	489	52	44	35	38	38	40	44	48	39	35	38	38

３　社会動態

（１）市町村別社会動態

社会増減数は境港市、大山町及び伯耆町を除く市町村で減少

社会増減数を市町村別にみると、境港市、大山町及び伯耆町を除く市町村で減少した。

増加したのは大山町が 23 人（男性 17 人、女性 6 人）と最も増加し、次いで境港市が 14 人（男性 19 人、女性-5 人）となった。減少したのは鳥取市が 397 人（男性 218 人、女性 179 人）と最も減少し、次いで米子市が 212 人（男性 148 人、女性 64 人）となった。

社会増減率（対 1,000 人比）は大山町が 1.5‰と最も増加、次いで伯耆町が 0.8‰増加し、最も減少したのは江府町が 13.6‰で、次いで若桜町が 13.3‰となった。

（図11－1、図11－2、表3、統計表第7表、統計表第10表）

図11－1　市町村別社会増減数

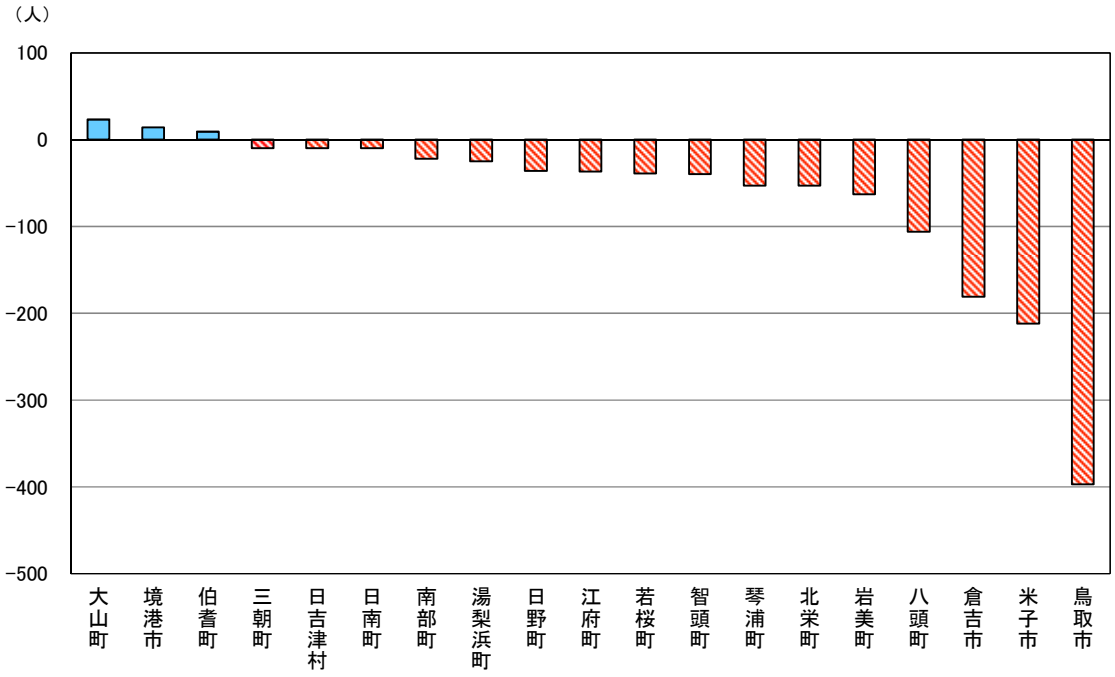


図11－2　市町村別社会増減率

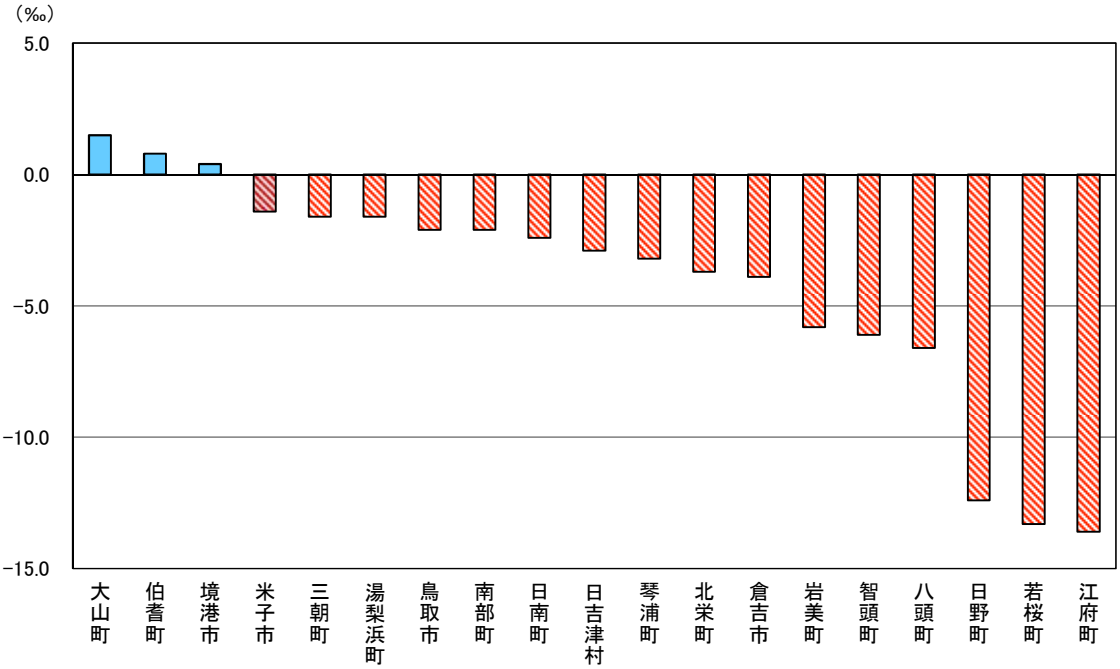


表３　市町村別社会動態

（単位：人）

	県外			県内			社会増減数
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	
県計	10,043	11,291	−1,248	6,108	6,108	0	−1,248
東部地区	3,825	4,405	−580	1,764	1,829	−65	−645
中部地区	1,217	1,503	−286	1,514	1,550	−36	−322
西部地区	5,001	5,383	−382	2,830	2,729	101	−281
鳥取市	3,328	3,884	−556	1,335	1,176	159	−397
米子市	3,347	3,740	−393	1,604	1,423	181	−212
倉吉市	591	739	−148	688	721	−33	−181
境港市	971	967	4	408	398	10	14
岩美町	153	172	−19	135	179	−44	−63
若桜町	50	48	2	28	69	−41	−39
智頭町	124	111	13	72	125	−53	−40
八頭町	170	190	−20	194	280	−86	−106
三朝町	77	89	−12	83	81	2	−10
湯梨浜町	185	242	−57	336	304	32	−25
琴浦町	267	269	−2	182	233	−51	−53
北栄町	97	164	−67	225	211	14	−53
日吉津村	53	70	−17	123	116	7	−10
大山町	219	198	21	246	244	2	23
南部町	144	143	1	120	143	−23	−22
伯耆町	131	153	−22	204	173	31	9
日南町	63	46	17	51	78	−27	−10
日野町	40	25	15	47	98	−51	−36
江府町	33	41	−8	27	56	−29	−37

注１）転入超過数とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス（−）の場合は、転出超過を示す。

注２）地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

（２）県内移動

県内移動で最も多いのは米子市から鳥取市への３８８人

県内移動をみると、米子市から鳥取市への 388 人（男性 224 人、女性 164 人）が最も多く、次いで鳥取市から米子市への 386 人（男性 221 人、女性 165 人）であった。

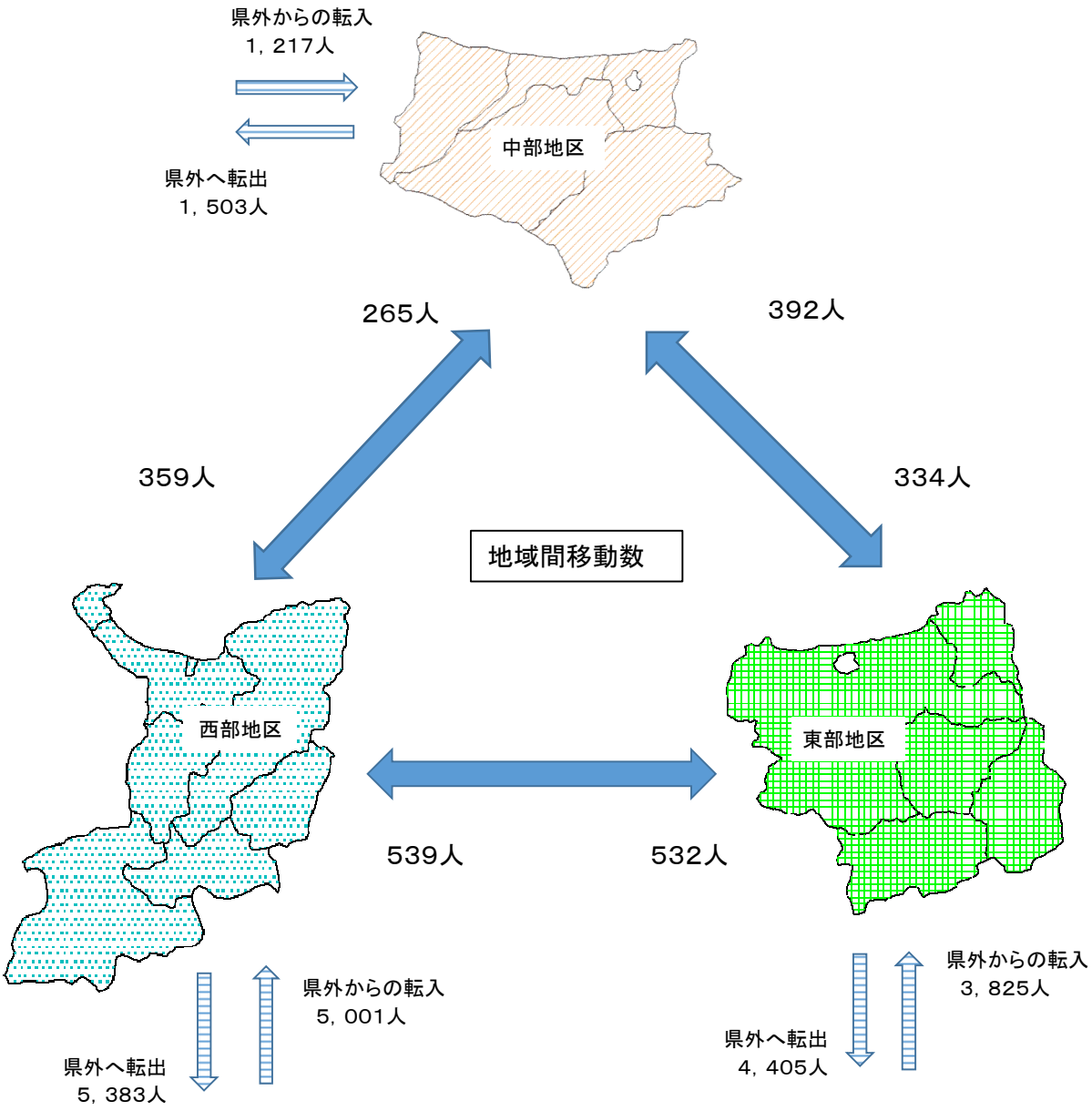
県内移動での転入超過は、米子市が 181 人（男性 92 人、女性 89 人）と最も多く、次いで鳥取市が 159 人（男性 88 人、女性 71 人）であった。

転出超過は、八頭町が 86 人（男性 58 人、女性 28 人）と最も多く、次いで智頭町が 53 人（男性 20 人、女性 33 人）であった。

また、県内移動を地域区分別にみると、東部から西部への 539 人（男性 300 人、女性 239 人）が最も多く、次いで西部から東部への 532 人（男性 308 人、女性 224 人）、東部から中部への 392 人（男性 199 人、女性 193 人）であった。

（図12、統計表第8表）

図１２　地域別社会動態（H31年1月～R元年12月）



県外との社会動態（県全体）

県外へ転出　11,291人

県外からの転入　10,043人

注）地域間移動数は、地域内市町村間の移動者を含まない。

（３）県外転入・県外転出

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への733人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への648人

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への 733 人（男性 379 人、女性 354 人）で、次いで兵庫県から鳥取市への 384 人（男性 197 人、女性 187 人）であった。

また、県外転出者で最も多いは、米子市から島根県への 648 人（男性 343 人、女性 305 人）、次いで鳥取市から大阪府への 505 人（男性 257 人、女性 248 人）であった。

県外転入・県外転出での転入超過は、大山町 21 人（男性 10 人、女性 11 人）が最も多く、次いで日南町 17 人（男性 7 人、女性 10 人）であった。

転出超過は、鳥取市 556 人（男性 306 人、女性 250 人）が最も多く、次いで米子市 393 人（男性 240 人、女性 153 人）であった。

また、県外転入・県外転出を地域区分別にみると、県外転入者については東部では兵庫県から 454 人（男性 233 人、女性 221 人）が最も多く、次いで大阪府から 348 人（男性 164 人、女性 184 人）、中部では岡山県から 136 人（男性 84 人、女性 52 人）が最も多く、次いで大阪府から 123 人（男性 51 人、女性 72 人）、西部では島根県から 970 人（男性 504 人、女性 466 人）が最も多く、次いで岡山県から 455 人（男性 243 人、女性 212 人）であった。

県外転出者については東部では大阪府へ 591 人（男性 298 人、女性 293 人）が最も多く、次いで兵庫県へ 510 人（男性 259 人、女性 251 人）、中部では大阪府へ 189 人（男性 86 人、女性 103 人）が最も多く、次いで東京都へ 137 人（男性 69 人、女性 68 人）、西部では島根県へ 913 人（男性 467 人、女性 446 人）が最も多く、次いで大阪府へ 480 人（男性 231 人、女性 249 人）であった。**（表4、統計表第9表）**

表4　都道府県別県外転入･転出者数（上位市町村）

（単位：人）

都道府県	転入					転出				
島根県	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
	1,339	733	264	153	189	1,281	648	244	161	228
岡山県	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	908	335	283	91	199	969	365	341	74	189
大阪府	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	850	287	265	59	239	1,260	505	333	84	338
兵庫県	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	840	384	200	57	199	924	435	222	64	203
広島県	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他
	753	286	279	44	144	796	304	266	71	155
東京都	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	573	210	182	54	127	994	369	327	71	227

（４）４市における年齢５歳階級別、男女別県外転入転出

県外転入者は倉吉市を除き 20～24 歳が最も多く、県外転出者は4市とも 20～24 歳が最も多い。

【鳥取市】

県外転入者は、20～24 歳が 709 人（男性 382 人、女性 327 人、県外転入者総数に占める割合 7.1％）と最も多く、次いで 25～29 歳が 504 人（男性 266 人、女性 238 人、同 5.0％）となった。

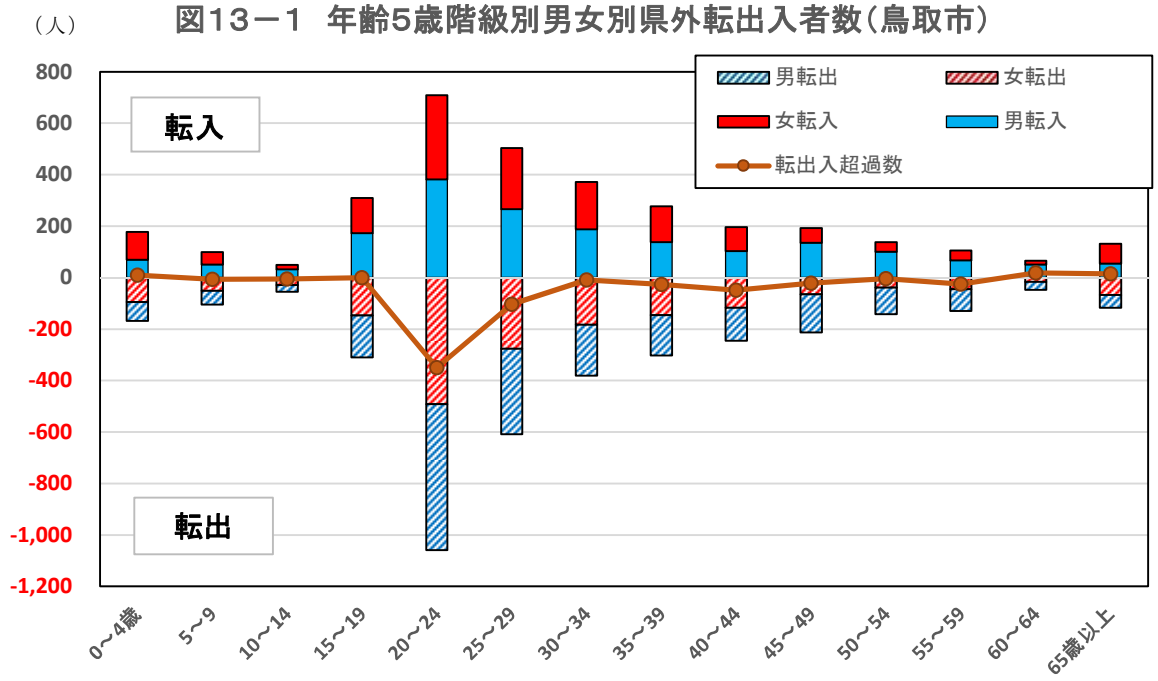
県外転出者は、20～24 歳が 1,059 人（男性 567 人、女性 492 人、県外転出者総数に占める割合 9.4％）と最も多く、次いで 25～29 歳が 608 人（男性 332 人、女性 276 人、同 5.4％）となった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、60～64 歳の 18 人（男性 19 人、女性-1 人）が最も多く、次いで 0～4 歳の 10 人（男性-4 人、女性 14 人）となった。

転出超過数は、20～24 歳が 350 人（男性 185 人、女性 165 人）と最も多く、次いで 25～29 歳が 104 人（男性 66 人、女性 38 人）となった。

（図13－1、統計表第10表）

図13－1　年齢5歳階級別男女別県外転出入者数（鳥取市）



【米子市】

県外転入者は、20～24 歳が 668 人（男性 367 人、女性 301 人、同 6.7%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 600 人（男性 317 人、女性 283 人、同 6.0%）となった。

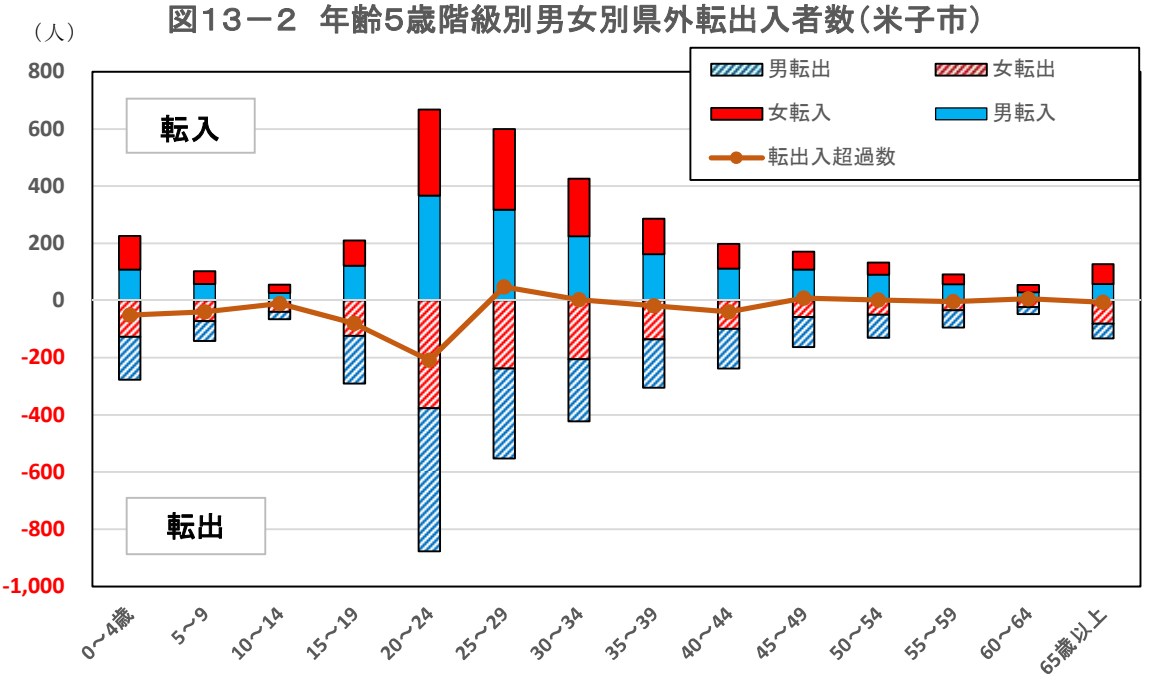
県外転出者は、20～24 歳が 877 人（男性 500 人、女性 377 人、同 7.8%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 552 人（男性 314 人、女性 238 人、同 4.9%）となった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、25～29 歳が 48 人（男性 3 人、女性 45 人）と最も多く、次いで 45～49 歳が 8 人（男性 3 人、女性 5 人）となった。

転出超過数は、20～24 歳が 209 人（男性 133 人、女性 76 人）と最も多く、次いで 15～19 歳が 80 人（男性 44 人、女性 36 人）となった。

（図13－2、統計表第10表）

図13－2　年齢5歳階級別男女別県外転出入者数（米子市）



【倉吉市】

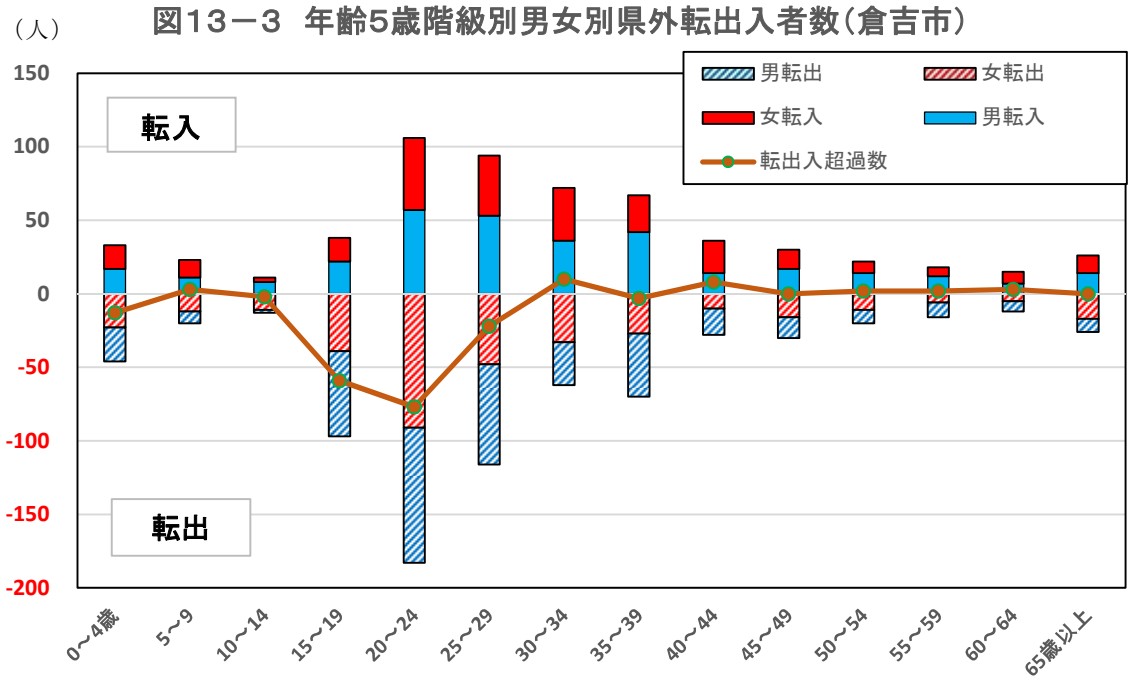
県外転入者は、20～24 歳が 106 人（男性 57 人、女性 49 人、同 1.1%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 94 人（男性 53 人、女性 41 人、同 0.9%）となった。

県外転出者は、20～24 歳が 183 人（男性 92 人、女性 91 人、同 1.6%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 116 人（男性 68 人、女性 48 人、同 1.0%）となった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、30～34 歳が 10 人（男性 7 人、女性 3 人）と最も多く、次いで 40～44 歳が 8 人（男性-4 人、女性 12 人）となった。

転出超過数は、20～24 歳が 77 人（男性 35 人、女性 42 人）と最も多く、次いで 15～19 歳が 59 人（男性 36 人、女性 23 人）となった。

（図13－3、統計表第10表）



【境港市】

県外転入者は、20～24 歳が 213 人（男性 117 人、女性 96 人、同 2.1%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 163 人（男性 81 人、女性 82 人、同 1.6%）となった。

県外転出者は、20～24 歳が 224 人（男性 126 人、女性 98 人、同 2.0%）と最も多く、次いで 25～29 歳が 154 人（男性 69 人、女性 85 人、同 1.4%）となった。

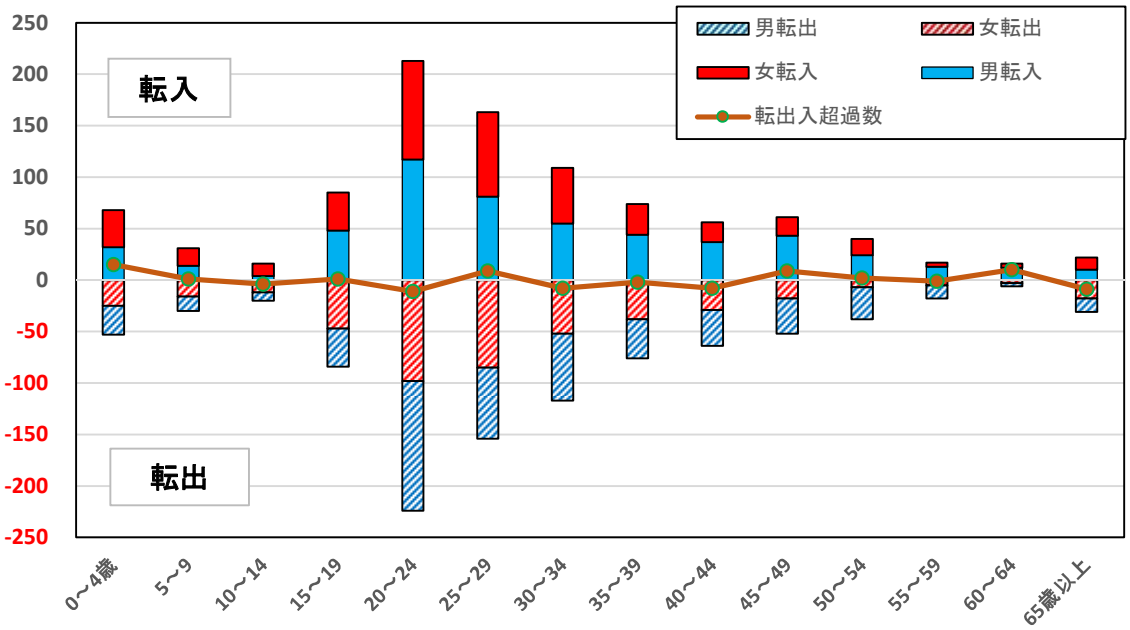
また、転入・転出超過数をみると、転入超過数では、0～4 歳が 15 人（男性 4 人、女性 11 人）と最も多く、次いで 60～64 歳が 10 人（男性 9 人、女性 1 人）となった。

転出超過数は、20～24 歳が 11 人（男性 9 人、女性 2 人）と最も多く、次いで 30～34 歳が 8 人（男性 10 人、女性-2 人）及び 40～44 歳が 8 人（男性-2 人、女性 10 人）となった。

（図１３－４、統計表第10表）

（人）

図13－4　年齢5歳階級別男女別県外転出入者数（境港市）



＜参考＞　外国人の人口動態

1　自然動態

・出生数は 18 人（男性 10 人、女性 8 人）
・死亡数は 14 人（男性 10 人、女性 4 人）

表5　自然動態（外国人）

（単位：人）

月次	出生			死亡		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	18	10	8	14	10	4
1月	1	1	0	0	0	0
2月	1	0	1	2	1	1
3月	3	2	1	0	0	0
4月	2	1	1	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	3	1	2	1	0	1
7月	1	1	0	0	0	0
8月	2	1	1	1	1	0
9月	2	1	1	3	2	1
10月	1	1	0	3	3	0
11月	1	0	1	2	2	0
12月	1	1	0	2	1	1

2　社会動態

（1）県内移動

・県内移動者数は 111 人（男性 45 人、女性 66 人）
・転入が最も多いのは倉吉市の 29 人（男性 18 人、女性 11 人）
・転入超過数は、倉吉市の 12 人（男性 15 人、女性-3 人）、岩美町の 12 人（男性 7 人、女性 5 人）が最も多く、転出超過数は、鳥取市の 12 人（男性 10 人、女性 2 人）、琴浦町の 12 人（男性 1 人、女性 11 人）が最も多い

（2）県外転入・県外転出

・県外転入者数は 1,629 人（男性 699 人、女性 930 人）で、県外転出者数は 1,141 人（男性 478 人、女性 663 人）
・県外転入者数で最も多いのは、鳥取市の 538 人（男性 255 人、女性 283 人）で、次いで米子市の 345 人（男性 132 人、女性 213 人）
・県外転出者数で最も多いのは、鳥取市の 414 人（男性 183 人、女性 231 人）で、次いで米子市の 174 人（男性 77 人、女性 97 人）
・転入超過数で最も多いのは、米子市の 171 人（男性 55 人、女性 116 人）で、次いで鳥取市の 124 人（男性 72 人、女性 52 人）（**表5**）

表６　市町村別社会動態（外国人）

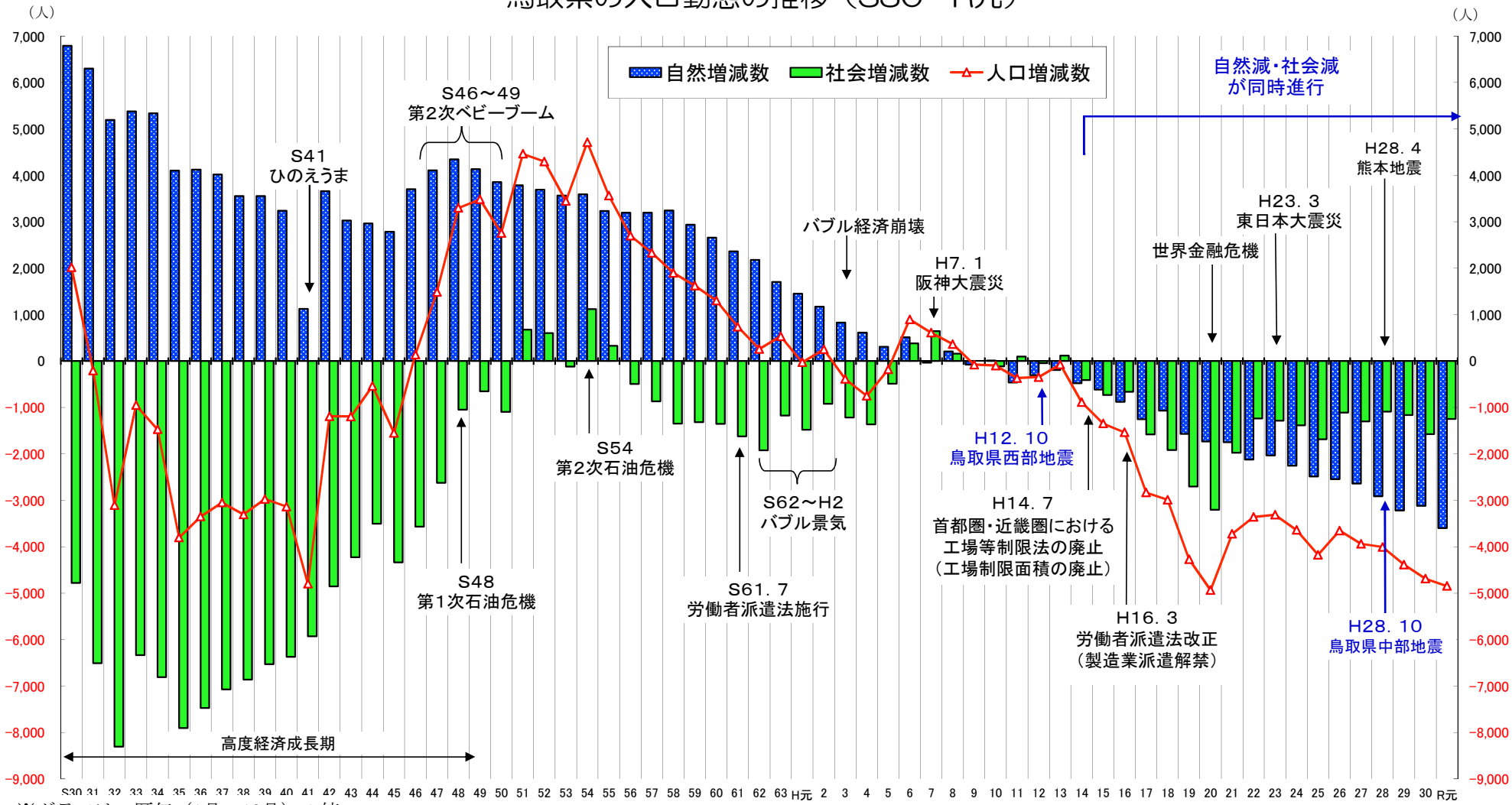
（単位：人）

	県外							県内							社会増減数
	転入者数			転出者数			転入超過数	転入者数			転出者数			転入超過数	
	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女	総数	男	女		
県計	1,629	699	930	1,141	478	663	488	111	45	66	111	45	66	0	488
東部地区	650	304	346	488	212	276	162	33	14	19	39	23	16	−6	156
中部地区	283	107	176	209	75	134	74	53	22	31	33	6	27	20	94
西部地区	696	288	408	444	191	253	252	25	9	16	39	16	23	−14	238
鳥取市	538	255	283	414	183	231	124	19	6	13	37	22	15	−18	106
米子市	345	132	213	174	77	97	171	8	1	7	19	5	14	−11	160
倉吉市	79	45	34	55	33	22	24	29	18	11	17	3	14	12	36
境港市	174	63	111	156	54	102	18	10	6	4	8	6	2	2	20
岩美町	36	20	16	46	15	31	−10	12	7	5	0	0	0	12	2
若桜町	14	5	9	3	2	1	11	0	0	0	0	0	0	0	11
智頭町	40	14	26	10	6	4	30	0	0	0	1	0	1	−1	29
八頭町	22	10	12	15	6	9	7	2	1	1	1	1	0	1	8
三朝町	27	8	19	25	6	19	2	3	1	2	1	0	1	2	4
湯梨浜町	30	10	20	27	4	23	3	9	1	8	0	0	0	9	12
琴浦町	130	37	93	80	27	53	50	0	0	0	12	1	11	−12	38
北栄町	17	7	10	22	5	17	−5	12	2	10	3	2	1	9	4
日吉津村	6	0	6	1	0	1	5	0	0	0	1	0	1	−1	4
大山町	88	47	41	46	24	22	42	3	1	2	10	5	5	−7	35
南部町	50	32	18	40	30	10	10	0	0	0	1	0	1	−1	9
伯耆町	13	5	8	16	4	12	−3	1	1	0	0	0	0	1	−2
日南町	10	9	1	3	2	1	7	3	0	3	0	0	0	3	10
日野町	6	0	6	3	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3
江府町	4	0	4	5	0	5	−1	0	0	0	0	0	0	0	−1

注）転入超過とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス（－）の場合は、転出超過を示す。

注）地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

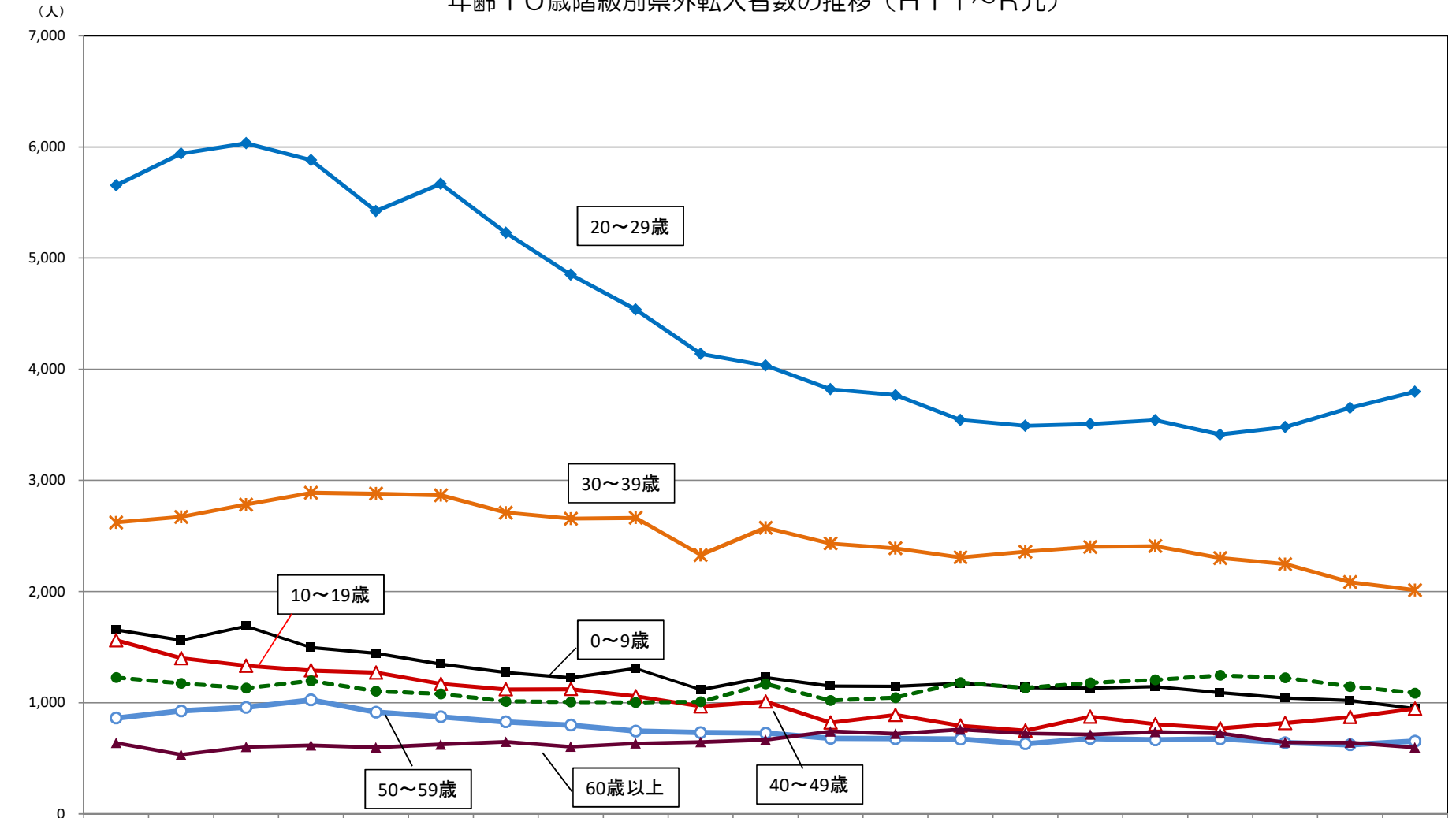
鳥取県の人口動態の推移（S30～R元）



※グラフは、暦年（1月～12月）の値

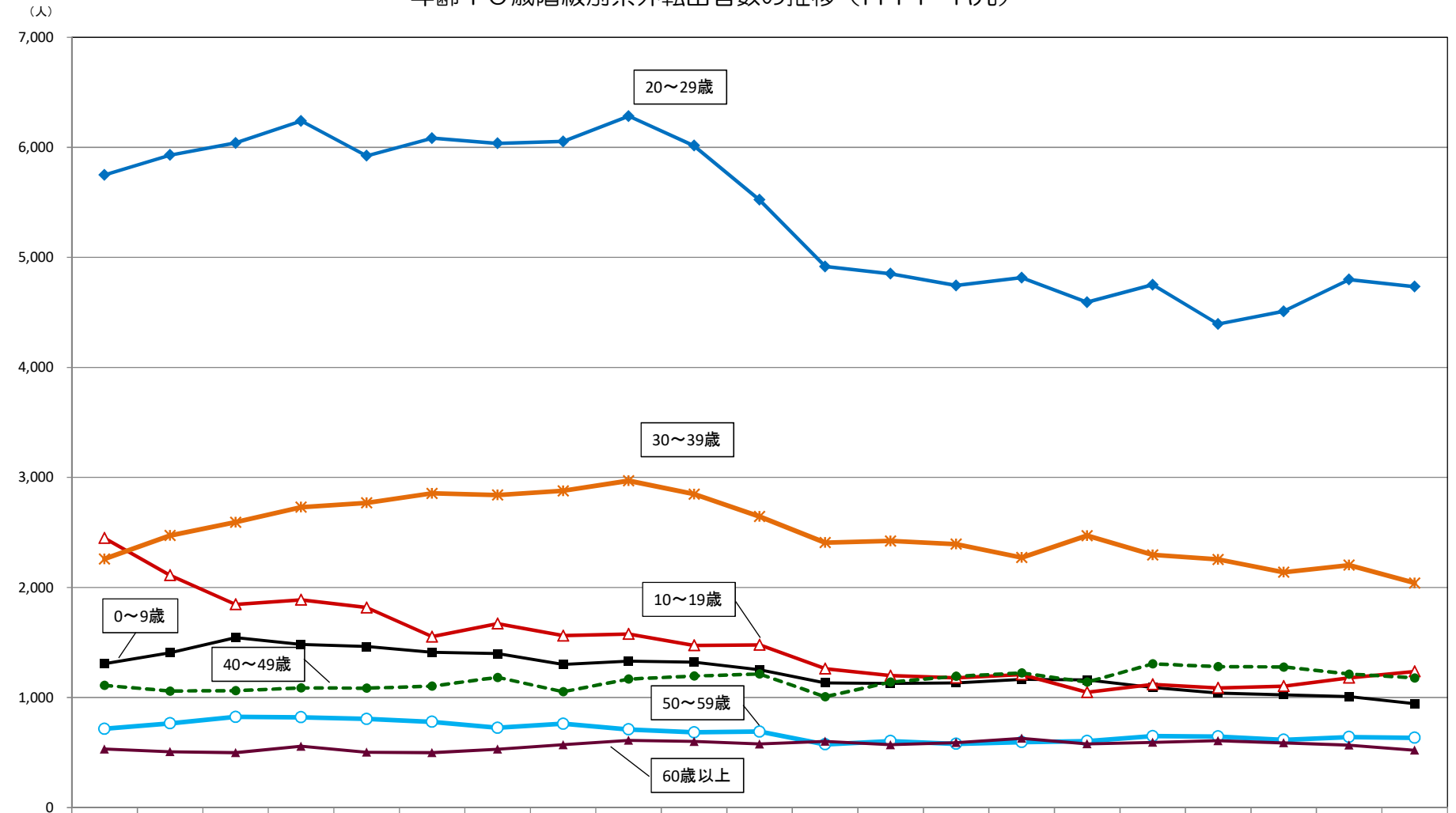
参考資料１

年齢１０歳階級別県外転入者数の推移（Ｈ１１～Ｒ元）



	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
0～9歳	1,655	1,562	1,689	1,497	1,444	1,346	1,271	1,225	1,308	1,118	1,226	1,150	1,146	1,174	1,136	1,131	1,144	1,091	1,042	1,020	949
10～19歳	1,562	1,401	1,332	1,291	1,271	1,169	1,120	1,123	1,058	967	1,010	821	890	794	750	874	806	770	818	871	947
20～29歳	5,653	5,941	6,032	5,882	5,423	5,667	5,228	4,851	4,537	4,139	4,034	3,820	3,767	3,544	3,491	3,507	3,541	3,413	3,480	3,652	3,797
30～39歳	2,621	2,671	2,783	2,888	2,881	2,867	2,710	2,656	2,664	2,329	2,574	2,432	2,389	2,307	2,358	2,402	2,409	2,302	2,247	2,085	2,012
40～49歳	1,227	1,174	1,131	1,198	1,104	1,079	1,012	1,006	1,003	1,009	1,169	1,021	1,046	1,181	1,134	1,179	1,206	1,246	1,224	1,146	1,087
50～59歳	862	927	958	1,025	915	873	828	798	745	731	727	679	677	672	630	678	665	674	640	622	654
60歳以上	639	533	603	617	598	624	647	605	634	645	665	742	720	759	725	714	736	725	643	641	597

年齢１０歳階級別県外転出者数の推移（Ｈ１１～Ｒ元）



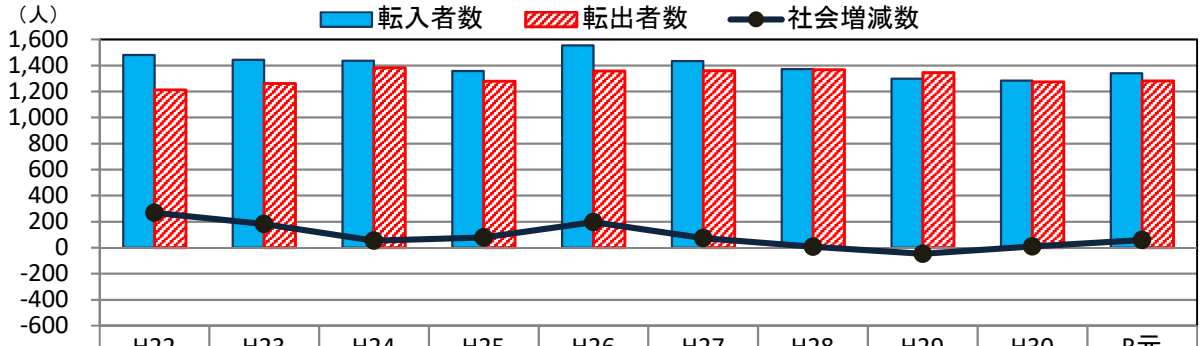
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
0～9歳	1,307	1,408	1,544	1,483	1,464	1,412	1,399	1,302	1,330	1,321	1,253	1,134	1,129	1,134	1,165	1,160	1,092	1,041	1,025	1,008	944
10～19歳	2,449	2,111	1,847	1,888	1,818	1,553	1,672	1,563	1,578	1,474	1,478	1,262	1,199	1,180	1,210	1,048	1,120	1,087	1,104	1,179	1,237
20～29歳	5,750	5,930	6,040	6,240	5,923	6,083	6,036	6,054	6,284	6,015	5,523	4,917	4,851	4,744	4,815	4,592	4,751	4,394	4,509	4,798	4,734
30～39歳	2,260	2,472	2,593	2,730	2,769	2,856	2,840	2,878	2,970	2,849	2,645	2,408	2,423	2,394	2,272	2,471	2,296	2,255	2,139	2,203	2,041
40～49歳	1,110	1,059	1,062	1,087	1,085	1,104	1,183	1,053	1,168	1,196	1,214	1,007	1,140	1,194	1,223	1,140	1,306	1,281	1,277	1,213	1,178
50～59歳	716	765	824	821	806	779	725	762	710	684	691	574	605	579	596	604	649	646	616	641	635
60歳以上	532	507	499	557	504	499	530	571	611	601	578	602	571	591	629	579	593	608	588	567	522

参考資料3

参考資料4

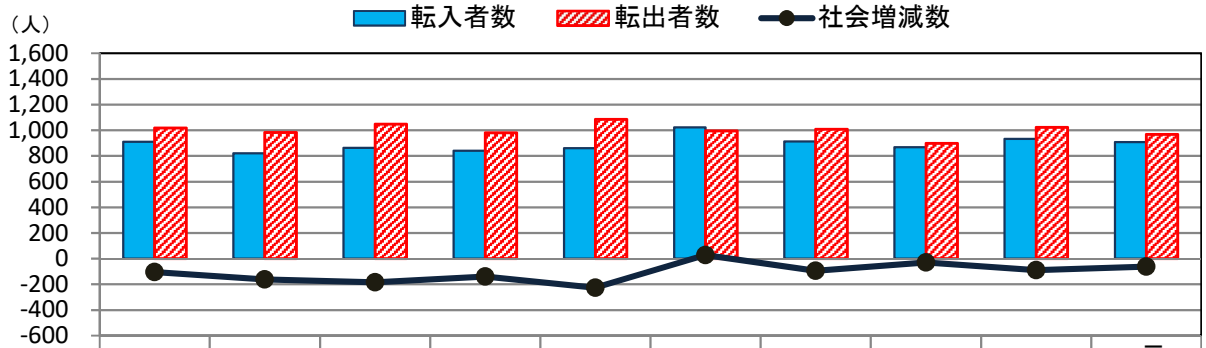
県外転出入者数の推移（令和元年移動者総数上位６都道府県）

島根県からの転入、島根県への転出



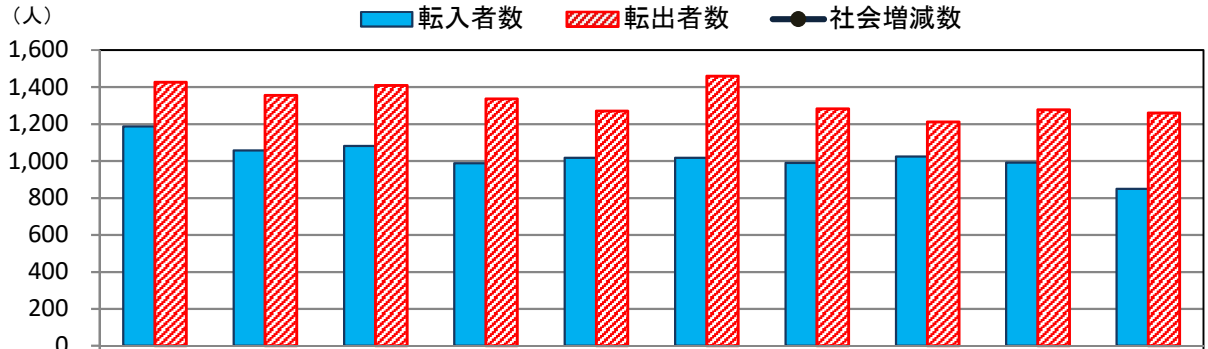
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
転入者数	1,480	1,442	1,436	1,357	1,553	1,433	1,373	1,298	1,284	1,339
転出者数	1,212	1,261	1,382	1,278	1,356	1,360	1,367	1,345	1,274	1,281
社会増減数	268	181	54	79	197	73	6	-47	10	58

岡山県からの転入、岡山県への転出



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
転入者数	912	821	864	840	860	1,023	913	869	934	908
転出者数	1,017	982	1,049	980	1,086	995	1,007	898	1,023	969
社会増減数	-105	-161	-185	-140	-226	28	-94	-29	-89	-61

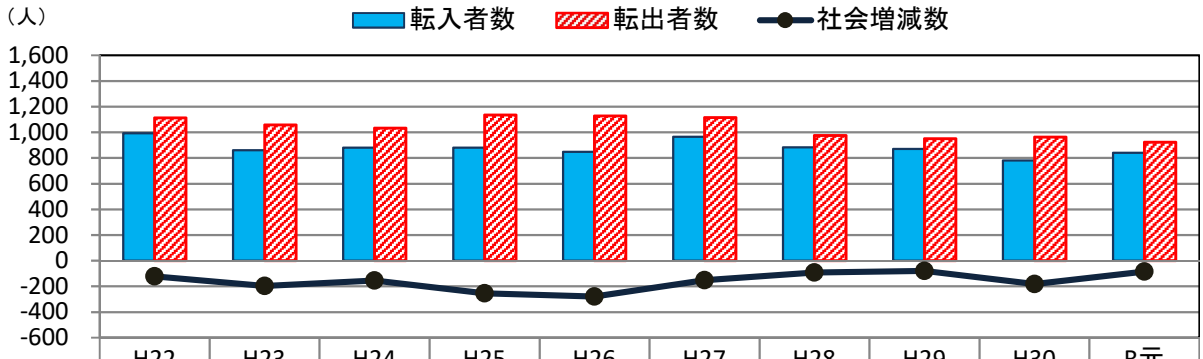
大阪府からの転入、大阪府への転出



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
転入者数	1,187	1,058	1,081	988	1,018	1,018	990	1,025	992	850
転出者数	1,426	1,355	1,409	1,336	1,270	1,460	1,283	1,212	1,278	1,260
社会増減数	-239	-297	-328	-348	-252	-442	-293	-187	-286	-410

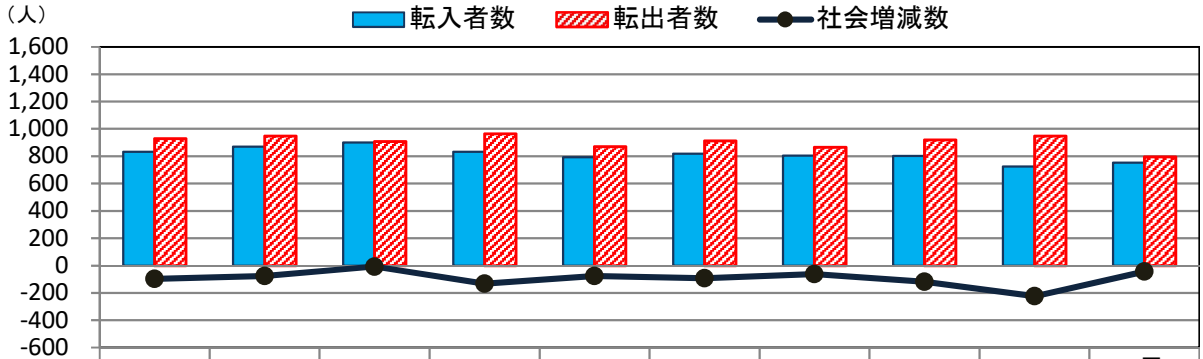
（注）移動者総数＝転入者数＋転出者数

兵庫県からの転入、兵庫県への転出



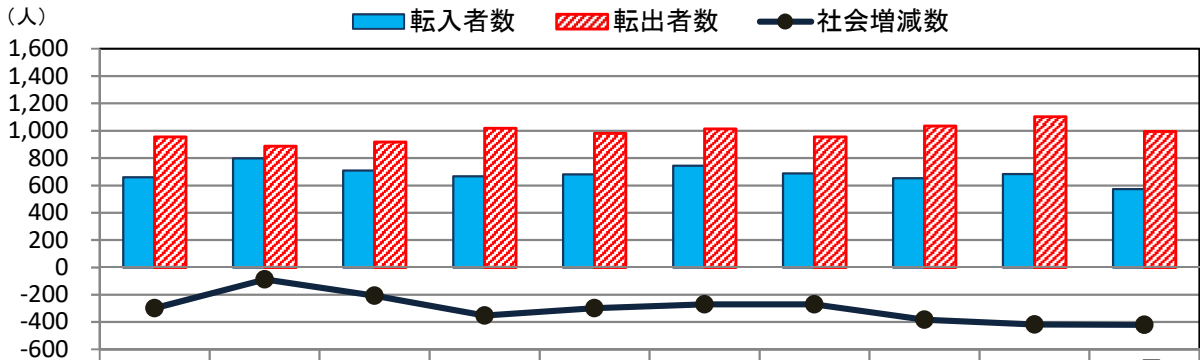
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
転入者数	992	862	881	881	849	965	884	871	781	840
転出者数	1,113	1,059	1,034	1,135	1,128	1,116	976	951	963	924
社会増減数	-121	-197	-153	-254	-279	-151	-92	-80	-182	-84

広島県からの転入、広島県への転出



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
転入者数	832	870	900	833	793	818	805	803	724	753
転出者数	929	947	907	964	870	911	866	920	948	796
社会増減数	-97	-77	-7	-131	-77	-93	-61	-117	-224	-43

東京都からの転入、東京都への転出



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
転入者数	659	799	710	668	682	744	687	653	684	573
転出者数	956	887	917	1,019	980	1,014	956	1,035	1,102	994
社会増減数	-297	-88	-207	-351	-298	-270	-269	-382	-418	-421